

## No.2508

## 山菜採りと瀬川山

日 時 : 29日(祝)～30日(土)

参 加 : 鳴原(L)、尾崎、以倉(記)、佐々木(記) 4名

新大阪8時集合。連休初日とあって車の込み具合を考えて、鳴原さん流の下道を快適に走る。新緑の季節、良い選択であった。途中から舞鶴道・北近畿豊岡道を乗り継ぎ、八鹿・氷ノ山まで走り、今晚の食材を調達する。久しぶりの名色スキー場跡に車を止め(11:50)、昼食もそこそこに山菜採り開始する。鳴原さんと尾崎さんは、タラの芽狙いの高切りハサミをかざして、一気に山頂に向かう。私は、足の調子が悪かったので、近場で蕨とコゴミ採りである。何組かのパーティーが入っている。コゴミは10日程遅く、ほとんどが開ききっていたが、今晚の食材程度は確保、立派な蕨が大量であった。名色スキー場跡のこの時期は、ハングライダーの練習でにぎわっているはずだが、今日は少し風があるのか下のテント場で遊んでいる子供達だけだ。3時間程の山菜採りを楽しんで、皆さん袋一杯の収穫である。私も、タラの芽やこし油を分けてもらい、家のみやげができた(15:40発)。車で40分程、但馬アルペンロード木の殿堂の駐車場へ移動(16:15着)。アスレチックやテント場や展示館などがある広い施設、明日の瀬川山の登山口でもある。広い駐車場は我々の為にあるようで、テントでの山菜天ぷらとお浸しを堪能する。酒も進み!いつしかシュラフの中で、高嶺の花である。翌朝は、キツツキのドラミングと鳥の声に目を覚ます(6:00)。ポーとした頭ではあるが、何とも気持ちのいい朝だ!。瀬川山山行は、足の調子がいまいちの為、私は不参加の為、以倉さんに報告をバトンタッチ。

4月30日 山菜採りの後、木の殿堂の駐車場にテントを張って翌朝、十石山から瀬川山へのハイキングに出発しようとしたが、佐々木さんが仕事で足首を痛め留守番をしているので行ってきて下さいとの事で、3人で出発すると道の左右に

(コシ油)の木が次々と出てきて、又山菜採りとなる十石山まで案内板には1時間と書かれていたが30分で着く、十石山から瀬川山まで案内板には2時間と書かれていたが1時間ほどで到着する、瀬川山からの見晴らしは(氷ノ山)(北ハチ原)などの山並みが広がり眼下の草原にはメルヘンチックなペンションが建っていて素晴らしい展望でした、長々と休憩を取った後ゆっくりと下山して佐々木さんと合流し帰阪する。

